

取組別評価シート(平成29年度実績)

政策2	健康長寿で暮らしを楽しむまちを目指します
取組1	生涯しあわせに暮らす健康づくりの推進
取組の目的	生涯にわたり健康で幸せに暮らせるように、それぞれの生活や年代にあわせた健康づくりを推進します。
現状と課題	<p>◎本市における生活習慣病の特徴である「糖尿病が強く疑われる人」は、特定健診のデータから、男女とも50歳代から県平均を上回っているという現状がある。</p> <p>◎生涯にわたり健康に生活するためには、筋力の低下が心配される年代からの健康づくりだけでなく、若い時から健康づくりに取り組むことが重要であり、企業や事業所と連携した中で、若い世代からの健康づくりを促進する必要がある。</p>

1. 取組指標の実績値

番号	指標名	項目	H27	H28	H29	H30	H32	H29達成率
1	市国保特定健診で糖尿病が強く疑われる人の割合(ヘモグロビンA1cの値が6.5%以上の人)(%)	目標値	—	8.7	8.4	8.1	7.5	73.8%
		実績値	9.7 (H26)	10.3 (H27)	10.6 (H28)			
2	市国保特定健診で内臓脂肪症候群該当者及び予備群者の割合(%)	目標値	—	30.7	29.3	27.9	25.1	90.2%
		実績値	31.4 上段:男 下段:女	31.8 13.5	34.1 13.4			
3	総合健康センター(聖隷袋井市民病院と休日急患診療室を含む)の延べ利用者数(人)	目標値	—	110,000	112,000	115,000	120,000	99.0%
		実績値	84,864	107,741	110,864			
		目標値	—					
		実績値						
		目標値	—					
		実績値						
		目標値	—					
		実績値						
92.0%								86.6%

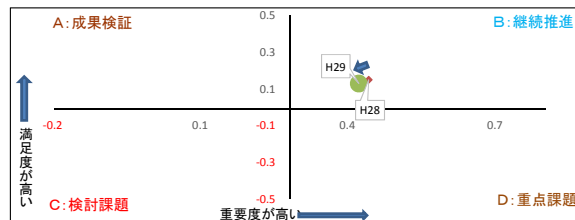
2. 県内他市との比較

番号	指標名	袋井市	磐田市	掛川市	藤枝市	裾野市	県平均
1	市国保特定健診受診率(%) 厚生労働省・県健康福祉部国民健康保険課「平成28年度特定健康診査・特定保健指導の実施状況速報値」	52.3	45.8	36.1	49.2	45.0	37.6

3. 市民意識調査結果及びその分布

区分	H28	H29	H30	H31	H32
重要度	0.46	0.44			
満足度	0.16	0.14			

政策2取組1 重要度と満足度の評価マトリクス



4. この取組実現のための主な事業

事業名	担当課	総事業費(千円)			H31年度に重点化する事業
		H29年度実績額	H30年度予算額	H31年度予算の方向性	

基本方針(1) 地域における健康づくりの推進

出前健康教室開催事業	健康づくり課	1,131	1,132	維持
地域健康意識向上事業	健康づくり課	391	6,155	維持
健康運動サポーター活動推進事業	健康づくり課	286	301	維持

基本方針(2) 各年代における健康づくりの推進

介護予防事業(出前講座)	健康づくり課	2,675	2,914	維持
子ども健康教育支援事業	健康づくり課	732	976	維持
介護予防プログラム普及事業	健康づくり課	450	879	維持
認知症予防教室事業	健康づくり課	260	142	維持

基本方針(3) 生活習慣病の発症予防と重症化予防

各種がん検診事業	健康づくり課	91,744	94,236	維持
後期高齢者健康診査事業	市民課	5,562	7,862	維持
生活習慣病予防事業	健康づくり課	1,303	860	維持
後期高齢者人間ドック助成事業	市民課	1,140	1,300	維持

基本方針(4) 栄養・運動など生活習慣の改善

フットー健康ポイント事業(健康マイレージ)	健康づくり課	12,591	5,199	拡充 ◎
食育推進事業	健康づくり課	3,309	3,012	維持
子ども健康教育支援事業【再掲2-1-(2)】	健康づくり課	732	976	維持
健康塾開催事業	健康づくり課	349	302	維持

基本方針(5) 心の健康づくりの推進

虐待予防事業	健康づくり課	217	652	維持
自殺予防対策事業	健康づくり課	132	1,208	維持

5. 総合評価

I. 評価の分析	◎糖尿病や内臓脂肪症候群等の該当者割合は、増加傾向にあり、保健師や管理栄養士による個別面談を行うなど対策を強化している。引き続き、対象者に対しては個別指導を行うとともに、若い世代にも広く普及啓発するなどの対策が必要がある。 ◎聖隷袋井市民病院では、看護師、理学療法士、作業療法士等の医療従事者を確保し、新たに回復期リハビリテーション病床50床を開設するなど、医療環境を充実させたことで、利用者も増加している。	H29の評価	B (概ね順調)
II. 29年度に取り組んだ内容	◎国保特定健診による糖尿病の疑いや内臓脂肪症候群などの結果から、保健指導が必要と判断する方に対して、個別面談を行った。 ◎スマートフォンなどで歩数を手軽に管理できる新たな健康ポイントサービス「#2961ウオーク」を開発した。 ◎聖隷袋井市民病院では、医療スタッフを確保するとともに、回復期リハビリテーション病床やMRI機器を導入し、医療の充実を図った。		
III. 今後の展開方向	◎国保特定健診の受診結果から、保健指導が必要と判断される方に対して、個別指導を強化するとともに、地域と連携しながら、市民への普及啓発を行っていく。 ◎新たにサービスを開始した「#2961ウオーク」について、企業等における健康経営の促進に加え、より多くの方に利用されるよう普及に努めていく。 ◎聖隷袋井市民病院では、中東遠総合医療センターや市内の開業医、近隣の医療機関とも連携を深め、医療スタッフを充実し、医療の質を一層高めていく。		

取組別評価シート(平成29年度実績)

政策2	健康長寿で暮らしを楽しむまちを目指します
取組2	いきいきと暮らせる健康長寿の推進
取組の目的	すべての高齢者が尊重され、住み慣れた地域で、健やかに自分らしく暮らせる長寿社会を目指します。
現状と課題	<p>◎高齢化の進行に伴い、今後もひとり暮らし高齢者や要介護認定者数、認知症患者数がさらに増加していく事が予想される。特に、団塊の世代が後期高齢者に到達する2025年を見据え、引き続き「地域包括ケアシステム」を推進していく必要がある。</p> <p>◎高齢者が健康でいきいきと暮らすためには、健康なときから介護予防に取り組む必要がある。地域においては介護予防の取組が広がっているが、今後、地域間で格差が生じないよう対応していくことが求められる。</p>

1. 取組指標の実績値

番号	指標名	項目	H27	H28	H29	H30	H32	H29達成率
1	要介護(要支援)認定者の割合(65歳以上)(%)	目標値	—	16.2	16.4	16.8 15.5	17.8 15.5	100.0%
		実績値	15.4	15.2	15.1			
2	介護予防教室・講座参加者数(人)	目標値	—	15,700	16,100	16,800	18,000	95.7%
		実績値	13,890	16,012	15,413			
3	介護支援ボランティア登録人数(人)	目標値	—	290	310	320 270	330	71.9%
		実績値	244	241	223			
4	認知症サポーターの人数(人)	目標値	—	1,200	1,300	1,300 1,600	1,300 2,000	63.3%
		実績値	1,099	1,135	823			
5	要介護(要支援)認定者のうち在宅サービス及び地域密着型サービス(小規模多機能型居宅介護)利用者の割合(%)	目標値	—	57.4	57.5	57.6 57.0	57.8 57.0	100.0%
		実績値	60.9	62.3	58.0			
		目標値	—					
		実績値						
								95.5%
								86.2%

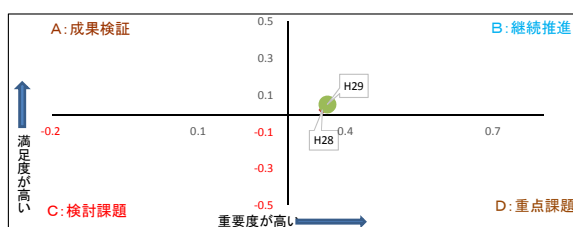
2. 県内他市との比較

番号	指標名	袋井市	磐田市	掛川市	藤枝市	裾野市	県平均
1	要介護(要支援)認定率(%)県「平成27年度介護保険事業状況報告年報」	15.9	15.3	16.3	15.4	13.5	15.9
2	ひとり暮らし高齢者率(%)県「高齢者福祉行政の基礎調査(H28.4.1現在)」	12.8	13.2	12.2	17.0	6.1	18.6
3							

3. 市民意識調査結果及びその分布

区分	H28	H29	H30	H31	H32
重要度	0.37	0.38			
満足度	0.03	0.06			

政策2取組2 重要度と満足度の評価マトリクス



4. この取組実現のための主な事業

事業名	担当課	総事業費(千円)			H31年度に重点化する事業
		H29年度実績額	H30年度予算額	H31年度予算の方向性	

基本方針(1)健康と生きがいづくりの推進

介護予防教室事業(楽笑教室)	健康づくり課	17,500	18,227	維持
介護予防事業(出前講座)	健康づくり課	2,675	2,914	維持
介護予防教室(筋トレマシン教室)	健康づくり課	1,266	1,375	維持
長寿祝い事業	しあわせ推進課	484	778	維持

基本方針(2)地域包括ケアの充実

配食サービス事業	地域包括ケア推進課	8,699	10,239	維持
認知症総合支援事業	地域包括ケア推進課	8,470	8,890	継続 ◎
ひとり暮らし高齢者支援事業	地域包括ケア推進課	1,682	2,277	維持
在宅医療・介護連携推進事業	地域包括ケア推進課	465	2,550	維持

基本方針(3)住みやすいまちづくりの推進

交通安全対策推進事業	協働まちづくり課	7,860	7,940	維持
防犯対策推進事業	協働まちづくり課	1,906	855	維持
総合相談事業	地域包括ケア推進課	1,303	624	維持

基本方針(4)支え合う仕組みの構築

生活支援体制整備事業【再掲2-2-(2)】	地域包括ケア推進課	8,314	18,072	維持
介護支援ボランティア事業	地域包括ケア推進課	549	1,202	維持
お元気サポーター養成講座	地域包括ケア推進課	279	491	維持

基本方針(5)介護保険事業の円滑な実施

介護予防・生活支援サービス費	地域包括ケア推進課	64,370	173,237	維持
----------------	-----------	--------	---------	----

5. 総合評価

I. 評価の分析	◎各地域で様々な健康教室や介護予防の取組が広がっており、「要介護(要支援)認定者の割合(65歳以上)」は年々減少し、元気なお年寄りが増えている。 ◎地域の中でより多くの方が参加し充実した健康教室や介護予防などが取り組まれるよう、介護ボランティアや認知症サポーターを確保していく必要がある。	H29の評価	C (一部に改善を要する)
II. 29年度に取り組んだ内容	◎各種運動教室や認知症予防教室、介護予防出前健康教室を実施したほか、シニアクラブやいきいきサロン等の活動サークルが自立・定着するよう支援を行った。 ◎在宅医療・介護連携シンポジウムと兼ねた認知症サポーター養成講座を開催した。また、東海アクシズ看護専門学校生を対象に講座を開催したことで、若い世代のサポーターを確保した。		
III. 今後の展開方向	◎長寿しあわせ計画(H30~H32)に基づき、新たに設定した30年度以降の目標値を達成するため、引き続き、介護支援ボランティアの登録者を募っていくとともに、登録者のフォローアップやボランティア同士の交流を深める取組など、ボランティア活動を促進していく。また、認知症サポーターは、多職種・多世代に養成講座の受講を促していくほか、定期的なスキルアップ研修を行うことで、活動を担う人材の確保と育成に努めていく。 ◎今後、高齢化が一層進んでいく中で、元気な高齢者も「支える側」として、地域全体で認知症患者や介護者等を支える基盤をより強固にしていく。		

取組別評価シート(平成29年度実績)

政策2	健康長寿で暮らしを楽しむまちを目指します
取組3	安心できる地域医療の充実
取組の目的	保健・予防から医療、介護、福祉へと切れ目のない連携体制の構築を目指します。
現状と課題	◎医師の不足と偏在が進む中、医療機関においては機能の分化と連携の強化により、地域医療体制を充実していく一方、医療機関への適正な受診を促すなど、医療を充実しつつ医療費を抑制することが求められている。 ◎中東遠総合医療センターにおいては、圏域の基幹病院としての役割を果たすと同時に、効率的な運営と健全な経営の推進が求められており、聖隷袋井市民病院では、休日急患診療において医師が不足し、外部医療機関から医師派遣の支援を受けている状況である。

1. 取組指標の実績値

番号	指標名	項目	H27	H28	H29	H30	H32	H29達成率
1	お達者度(男性) (年)	目標値	—	17.56	17.60	17.65	17.74	100.0%
		実績値	17.44 (H25)	17.46 (H26)	17.66 (H27)			
2	お達者度(女性) (年)	目標値	—	21.08	21.11	21.14	21.20	99.6%
		実績値	20.86 (H25)	20.77 (H26)	21.02 (H27)			
3	中東遠総合医療センターの患者満足度(入院) (%)	目標値	—	88.0	88.5	89.0	90.0	97.6%
		実績値	83.7	88.7	86.4			
4	中東遠総合医療センターの患者満足度(外来) (%)	目標値	—	67.5	70.7	73.8	80.0	86.2%
		実績値	59.3	60.5	60.9			
5	総合健康センターでの総合相談件数 (件)	目標値	—	2,600	2,700	2,800	3,000	100.0%
		実績値	2,080	2,495	2,828			
		目標値						
		実績値						
								96.7%

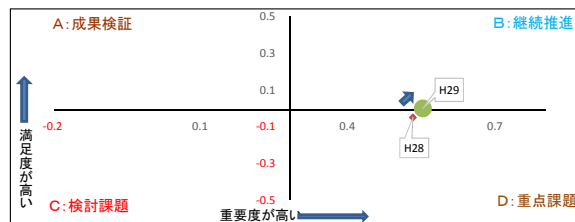
2. 県内他市との比較

番号	指標名	袋井市	磐田市	掛川市	藤枝市	裾野市	県平均
1	お達者度(男性)(平成27年実績) (県発表)	17.66	18.91	18.58	18.74	19.16	18.11
2	お達者度(女性)(平成27年実績) (県発表)	21.01	21.64	21.34	20.97	21.47	21.25
3							

3. 市民意識調査結果及びその分布

政策2取組3 重要度と満足度の評価マトリクス

区分	H28	H29	H30	H31	H32
重要度	0.55	0.57			
満足度	-0.04	0.01			



4. この取組実現のための主な事業

事業名	担当課	総事業費(千円)			H31年度に重点化する事業
		H29年度実績額	H30年度予算額	H31年度予算の方向性	
<b>基本方針(1)切れ目のない地域医療体制の確保</b>					
中東遠総合医療センター運営負担金	地域包括ケア推進課	705,492	701,778	維持	
袋井市病院事業運営費補助金	地域包括ケア推進課	338,196	350,198	維持	
看護専門学校管理費	東海アセス看護専門学校総務課	18,869	52,727	維持	

基本方針(2)救急医療体制の確保

中東遠総合医療センター運営負担金【再掲2-3-(1)】	地域包括ケア推進課	705,492	701,778	維持	
一次救急医療事業	地域包括ケア推進課	41,074	43,353	維持	

基本方針(3)医療と介護の連携強化

総合健康センター施設管理運営費	地域包括ケア推進課	6,340	238,356	縮小	
-----------------	-----------	-------	---------	----	--

5. 総合評価

I. 評価の分析	◎市民意識調査の結果では、今後、本市でも高齢化が更に進んでいくと見込まれる中、市民が重要度が高いと捉える分野である。 ◎県が公表するお達者度は、男女とも、概ね近隣市や県平均を下回っているものの、高齢化率やひとり暮らし高齢者の割合などは県内でも低い。 ◎中東遠総合医療センターの患者満足度は、各病棟での専門職による退院支援担当者の配置や会計手続の改善などを進めているが、目標達成に向けては更なる取組が必要である。 ◎市役所内関係部署や関係機関との連携強化により総合健康センターでの総合相談件数は増加しており、相談体制の充実に図られている。	H29の評価	B (概ね順調)
II. 29年度に取り組んだ内容	◎中東遠総合医療センターでは、各病棟において看護師などの専門職を退院支援担当者として配置するとともに、待ち時間を短縮するため会計手続を改善した。 ◎中東遠総合医療センターでは、新公立病院改革プランを策定し良好な病院運営に努めるとともに、「地域医療支援病院」の承認を受け、地域の医療機関と連携・協力し医療の質とサービスの向上、救急医療の実施など、信頼される病院として地域医療に貢献した。 ◎関係部署や関係機関の職員を対象に研修会を開催したほか、民生委員や介護保険事業所などの連携強化に努めた。		
III. 今後の展開方向	◎お達者度の向上、自立支援を図るため、引き続き「運動」・「食生活」・「社会参加」分野の事業を推進する。 ◎中東遠総合医療センター及び聖隷袋井市民病院では、「新公立病院改革プラン」に基づき、医療の質の向上と業務の効率化に取り組んでいく。 ◎地域包括ケアシステム構築に向けた取組として、袋井市在宅医療多職種連携推進会議にて協議を進め、総合健康センター事業の充実に図っていく。		

取組別評価シート(平成29年度実績)

政策2	健康長寿で暮らしを楽しむまちを目指します
取組4	自分らしく暮らせる障がい者支援の推進
取組の目的	障がいのある人が、住み慣れた地域で、生きがいを持って生活できる環境を整備します。
現状と課題	◎障がいの有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重しながら共生する社会を実現するため、全ての障がい者や障がい児が可能な限り住み慣れた地域できめ細やかなサービスを受けられ、自分の能力を最大限発揮して生きがいを持って生活できるよう環境を整えることが求められている。 ◎国は、在宅でのサービス給付を推進する方針を示しているが、受け入れにあたってのサービスや施設の整備が十分な状況ではない。

1. 取組指標の実績値

番号	指標名	項目	H27	H28	H29	H30	H32	H29達成率
1	共同生活援助(グループホーム)の定員数(人)	目標値	-	71	71	91 61	101 71	67.6%
		実績値	66	71	48			
2	避難行動要支援者の個別計画作成の同意率(%)	目標値	-	72.0	74.0	76.0	80.0	95.7%
		実績値	69.6	70.3	70.8			
3	障がい者の法定雇用率(2.0%)を達成している一般企業の割合(%)	目標値	-	34.0	38.0	42.0	50.0	93.7%
		実績値	32.7	43.2	35.6			
		目標値	-	-				
		実績値						
		目標値	-	-				
		実績値						
		目標値	-	-				
		実績値						
								99.2%
								85.7%

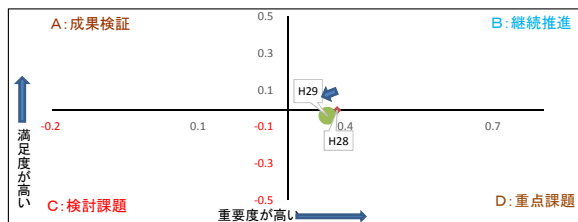
2. 県内他市との比較

番号	指標名	袋井市	磐田市	掛川市	藤枝市	裾野市	県平均
1	平成29年度障害者就労施設等からの物品等の調達実績(県障害者政策課HP)(円)	2,162,389	3,190,234	10,035,386	7,009,666	1,985,572	-
2							
3							

3. 市民意識調査結果及びその分布

政策2取組4 重要度と満足度の評価マトリクス

区分	H28	H29	H30	H31	H32
重要度	0.40	0.38			
満足度	0.00	-0.03			



4. この取組実現のための主な事業

事業名	担当課	総事業費(千円)			H31年度に重点化する事業
		H29年度実績額	H30年度予算額	H31年度予算の方向性	

基本方針(1) 自立した生活の支援

障害者自立支援給付(障害福祉サービス)事業	しあわせ推進課	1,080,196	1,152,984	拡充	◎
日中一時支援事業	しあわせ推進課	33,003	37,760	維持	
日常生活用具給付事業	しあわせ推進課	16,280	15,040	拡充	
コミュニケーション支援事業	しあわせ推進課	3,713	2,852	拡充	

基本方針(2) 社会福祉施設の整備支援

社会福祉施設・設備整備費補助事業	しあわせ推進課	12,432	1,603	維持	

基本方針(3) 障がい者への理解と地域の交流の支援

手をつなぐ育成会補助事業	しあわせ推進課	237	237	維持	
知的障害啓発事業	しあわせ推進課	190	190	維持	
スポーツ教室開催事業	しあわせ推進課	85	95	維持	

5. 総合評価

I. 評価の分析	◎グループホームが1施設増えたが、既存施設の定員規模が縮小されたことにより、定員目標値を下回った。また、避難行動要支援者の個別計画作成の同意率は、個人情報の提供に対する考え方や各々異なる家庭の事情などにより、周知と啓発に努めているものの微増にとどまっている。 ◎障がい者の法定雇用率は昨年度に比べ低い数値となった。障がい者の雇用は増えているものの、景気の回復により労働者全体の雇用が大きく改善されたことが要因である。	H29の評価	B (概ね順調)
II. 29年度に取り組んだ内容	◎民間事業者によるグループホームの設置にあたって、開設手続の支援を行った。また、避難行動要支援者に対して、個別計画の策定に必要な個人情報の提供について、周知・依頼を実施した。 ◎障がい者の法定雇用率について、現状分析を実施し、研修会等へ参加し情報収集を行うとともに、障害者優先調達では学校給食の食材野菜の購入等、積極的に取り組んだ。		
III. 今後の展開方向	◎平成29年度に策定した、第3次障がい者計画(平成30年度～平成35年度)及び第5期障がい者福祉計画(平成30年度～平成33年度)に基づき、障がい者を受け入れる施設整備を推進するとともに、市内企業における障がい者雇用を増加に努めるなど、障がい者の自立に向けた施策を推進していく。		

取組別評価シート(平成29年度実績)

政策2	健康長寿で暮らしを楽しむまちを目指します
取組5	親しみやすい市民スポーツの推進
取組の目的	市民が明るく健康でいきいきとした生活を送れるように、気軽に親しめるスポーツ文化の推進に取り組みます。

現状と課題	◎市民の健康に対する意識の高まりとともに、スポーツに取り組む市民が増加している。市では、2018年(平成30年度)全国高等学校総合体育大会弓道競技大会、2019年(平成31年度)ラグビーワールドカップ、2020年東京オリンピック・パラリンピックの3大会を「袋井スポーツドリーム」と位置づけ、スポーツの振興に取り組んでいる。 ◎生涯に渡って気軽に健康づくりやスポーツが行えるよう、新たに総合体育館を整備するとともに、本市の運動施設は老朽化が進んでいることから、既存施設については、計画的に改修を進めていく必要がある。
-------	--

1. 取組指標の実績値

番号	指標名	項目	H27	H28	H29	H30	H32	H29達成率
1	スポーツ指導者派遣回数(回)	目標値	—	180	185	185	200	75.7%
		実績値	151	131	140			
2	スポーツ指導者育成事業助成金の交付件数(件)	目標値	—	21	22	23	25	0.0%
		実績値	3	1	0			
3	全国スポーツ大会の出場者数(激励金交付件数)	目標値	—	70	75	80	90	77.3%
		実績値	61	62	58			
4	市内の運動施設の利用者数(エコバを除く)(人)	目標値	—	695,000	700,000	705,000	750,000	100.0%
		実績値	672,956	732,308	706,393			
		目標値	—					
		実績値						
		目標値	—					
		実績値						
								66.6%
								63.3%

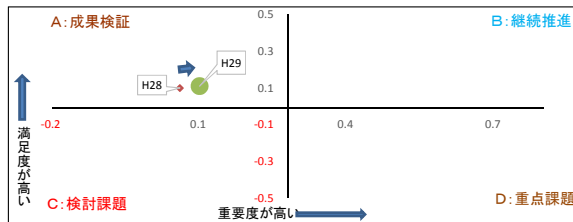
2. 県内他市との比較

番号	指標名	袋井市	磐田市	掛川市	藤枝市	裾野市	県平均
1							
2							
3							

3. 市民意識調査結果及びその分布

区分	H28	H29	H30	H31	H32
重要度	0.08	0.12			
満足度	0.11	0.12			

政策2取組5 重要度と満足度の評価マトリクス



4. この取組実現のための主な事業

事業名	担当課	総事業費(千円)			H31年度に重点化する事業
		H29年度実績額	H30年度予算額	H31年度予算の方向性	

基本方針(1)子どものスポーツ機会の充実と体力向上

事業名	担当課	H29年度実績額	H30年度予算額	H31年度予算の方向性	H31年度に重点化する事業
各種スポーツ教室・大会開催事業	スポーツ推進課	3,452	2,976	維持	
エアロビック普及事業	スポーツ推進課	571	757	維持	

基本方針(2)ライフステージに応じたスポーツ活動の推進

事業名	担当課	H29年度実績額	H30年度予算額	H31年度予算の方向性	H31年度に重点化する事業
スポーツドリーム推進事業	スポーツ推進課	8,207	12,534	維持	◎
スポーツ推進委員活動事業	スポーツ推進課	2,283	3,196	維持	
エアロビック普及事業	スポーツ推進課	571	757	維持	

基本方針(3)誰もが気軽に取り組めるスポーツ環境の整備

事業名	担当課	H29年度実績額	H30年度予算額	H31年度予算の方向性	H31年度に重点化する事業
総合体育館整備事業	スポーツ推進課	863,094	1,745,617	拡充	◎
学校運動施設運営事業	スポーツ推進課	1,641	1,641	維持	

基本方針(4)アスリートを育てる競技スポーツの推進

事業名	担当課	H29年度実績額	H30年度予算額	H31年度予算の方向性	H31年度に重点化する事業
袋井市スポーツ協会運営補助事業	スポーツ推進課	7,760	7,760	拡充	
静岡県市町対抗駅伝競走大会事業	スポーツ推進課	2,271	2,271	維持	



5. 総合評価

I. 評価の分析	◎現在、ラグビーワールドカップ等スポーツドリームを推進しており、市民の重要度は高まっている。 ◎スポーツ指導者育成事業助成金の交付件数は、指導者の高齢化や新たな指導者の確保が困難な状況から0件であったため、引き続き、指導者確保に向けた取組を進める必要がある。 ◎全国スポーツ大会の出場者増加に向け、競技全体のレベル向上を図るため、幼児期から体力向上に取り組む必要がある。 ◎運動施設の利用者数は昨年度より減少しているが、天候不良による利用日数の減などによるものであり、利用者は増加傾向にある。	H29の評価	C (一部に改善を要する)
II. 29年度に取り組んだ内容	◎PFI事業により進めている総合体育館整備は、設計業務が完了した。 ◎市内小中学校や幼稚園、公民館などにスポーツ指導者とエアロビック指導者の派遣を呼びかけるとともに、学校や地区の運動会でのエアロビック取り入れを依頼した。 ◎市ホームページや広報ふくろいなどにより、スポーツ指導者育成事業助成金の交付や、全国スポーツ大会の出場に伴う激励金交付の周知を図った。		
III. 今後の展開方向	◎総合体育館の平成31年12月プレオープン、平成32年4月供用開始に向け、着実に整備を進めるとともに、関係団体等と連携し、より多くの方に利用される施設を目指していく。 ◎市内のコミュニティセンターや小中学校などへスポーツ指導者を派遣していくほか、市内企業に対しても健康増進のための運動指導とスポーツ指導者の派遣を行っている。 ◎ラグビーワールドカップの開催により、市民のスポーツに対する関心が高まっていることから、積極的にスポーツに参加することはもとより、スタッフや指導者などスポーツを支える人材の育成につなげるよう、市民のスポーツへの関わりを深めていく。		